

県が実施した主な文化プログラム

県では、東京オリンピック・パラリンピックの大会開催を契機に、本県の魅力を発信し、文化振興を図るため、県民参加型の文化プログラムを実施しました。

- 1 **千葉・県民音楽祭（平成29年度～令和3年度）** ※令和2年度は中止
 世代や障害の有無を超え多くの人々が参加できるイベントとして、プロの演奏家と一般参加者による合同コンサートを、内容を充実させながら実施した。
 なお、令和3年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共催する「東京2020 NIPPONフェスティバル」の1事業として開催した。
 ○開催日：令和3年6月20日（日）
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により客席数を制限したため、より多くの方に鑑賞いただけるよう、当日のライブ配信と後日編集した映像の配信を行った。
 ○会場：千葉県文化会館大ホール
 ○出演者：一般公募による楽器演奏者（11名）、障害者団体（3団体(途中で1団体出演辞退)）、合唱団体（3団体）、ダンス団体（1団体）、千葉交響楽団、ゲストアーティスト（ダンサー、テノール歌手、邦楽演奏者）（来場者814名）

- 2 **ちばアート祭（令和元年度～令和3年度）**
 「ちば文化資産」(※)を会場や作品のテーマとして活用し、あらゆる人々が文化の担い手として参加・体験することができるアート祭を開催した。（令和3年度総来場者30,295名）
 (※) 千葉県の文化的魅力を再認識していただくことを目的に、県民投票等により選定した、「多様で豊かなちば文化の魅力の特徴づけるモノヤコト」のこと。伝説的なものから景観、イベント、祭りなど、111件。
 - (1) **チームラボ作品展**
 世界的に活躍するアート集団「チームラボ」による作品展示。
 ○会場：千葉ポートパーク（当初予定していた香取市小野川での展示は中止）
 ○期間：令和3年7月31日（土）～9月5日（日）※悪天候により中止した日もあり
 - (2) **絵画・写真作品公募展**
 「ちば文化資産」をテーマに公募した絵画・写真作品の展示。
 応募作品数：合計3,180点（絵画：1,059点、写真341点、Instagram：1,780点）
 ○千葉県立美術館第7展示室（原則全ての応募作品を展示）
 令和3年8月3日（火）～15日（日）※10日（火）は休館
 ○千葉ポートタワー1階市民ギャラリー（優秀作品24点を展示）
 令和3年8月16日（月）～9月5日（日）
 ○オンライン美術館
 応募された全ての作品をちばアート祭公式ホームページ上で公開。
 - (3) **屋外作品展**
 千葉県ゆかりのアーティストらによる屋外作品の展示。
 ○会場：千葉県立美術館、ペリエ千葉
 ○期間：令和3年7月31日（土）～9月5日（日）

- 3 **県民の日行事（令和3年度）**
 県民の日（6月15日）を契機として、県民の皆様がちばの魅力を再発見していただくとともに、郷土愛を深めていただけるよう、県民参加型の取組を実施した。
 - (1) **中央行事**
 県民の日記念行事として、無観客・オンライン配信でイベントを実施した。
 ○会場：幕張メッセ国際展示場※オンライン配信の撮影会場
 ○期間：ライブ配信 5月23日（日）、編集映像配信 6月19日（日）～7月20日（火）
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により無観客とし、当日のライブ配信と後日編集した映像の配信を行った。（ライブ配信視聴者17,753名）
 - (2) **地域行事**
 県内11地域において、県や市町村等により構成された実行委員会が各地域の魅力を再発見できる行事を開催した。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業で実施期間の縮小、中止あり。